

教科	科目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
芸術	美術 I	1 年 普通科 1 年 国際科 1 年 農業環境科 1 年 福祉科	2 単位	高校美術 (日本文教出版)	

到達目標	・美術の幅広い創作活動を通して、多様な表現方法に関心を持ち、良さや美しさを意欲的に味わう態度を育てる。 ・観察や想像に基づいて、主題を把握し表現の工夫をして、意図的、計画的に表現を楽しむ態度を育てる。 ・生涯にわたって美術を愛好する心情を育てる。
------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
	デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方など、創作活動にかかわる基本的な知識・技能を身につけている。	自己の追及したい主題の構想を練り、多様な表現方法の理解に基づく効果的な表現方法を工夫している。	各単元の学習内容を具体的に理解し、主体的に取り組むことができる。 美術作品や自他の作品のよさや美しさを感じ取り理解できる。

学習の評価	・学習活動への参加の状況（制作への取組の姿や態度、授業中の発言、制作の準備） ・制作の初めや途中のスケッチや試作品など ・学習ノートでの学習計画（課題や見通し）や学習記録（自己評価、相互評価など） ・制作した作品（完成度）
-------	--

単元	学習内容	到達目標
オリエンテーション	美術 I について	・高校美術の学習の意義・自然と人間、生活や歴史と美術の関わりについて理解する。 ・自分の生活の中に意欲的に美術を見出すことができる。
鑑賞	① 教科書の作品の模写	・歴史に残る作品の良さについて理解し、作者の考え方や時代背景について考える。 ・多様な作品から自らの価値観に気付く。

表現 基礎のデッサン	①鉛筆によるグラデーション ②透視図法 ③鉛筆による素描	・鉛筆の使い方を理解し、明暗、陰影などの表現を工夫することができる。 ・鉛筆のみで6段階程度のグラデーションを表現できる。 ・透視図法などの図法を理解できる
表現 油彩による絵画	①油彩による混色実験 ②油彩による静物画（F4）	・油彩の画材に慣れる ・混色による色彩変化が理解できる。 ・色の3原色が理解できる。 ・同系色による画面の効果を理解できる。 ・補色による画面の効果理解できる。
夏休みの課題	油彩による自由制作	・自分が興味を持った題材をよく観察しているか。 ・構図を工夫し効果的な表現を目指しているか。 ・油絵独特のマチュールを効果的に表現しているか。
立体 陶芸の基礎 オリジナルの器	①手びねりでのオリジナル器の制作 ②板作りによるマグカップの制作	・参考作品を鑑賞し、工芸の持つ美に着目することができる ・工程を理解し、素材の性質や技法を習得できたか。 ・技法を理解し、デザインや機能の重要性を理解する。
立体 キュービズムアート	①立体造形の基礎 ②異素材による組合 ③テーマを自ら設定し、それに基づいた造形活動	・立方体を基に、立体造形の基礎を理解できる。 ・制作に必要な材料を想定し、準備できたか。 ・テーマに沿ったアイデアスケッチができる。 ・質感、量感、均整、空間を意識した造形ができる。 ・素材を生かす表現や自己表現の大切さを理解できる。